

## 産業基盤の創生 募集要項

### 1. 「産業基盤の創生」研究助成の趣旨

キヤノン財団は「人々の暮らしを支え、人間社会が将来も発展していく基盤となる産業」の礎となる研究に対して助成を行います。

### 2. 募集の概要

#### 2.1. 募集対象の分野と研究

日本の強い産業を更に強化し、あるいは新たな産業を起こすことによって経済発展を促すような科学技術分野にあって、独創的、先駆的、萌芽的な研究を支援します。例えば、情報・通信、エレクトロニクス、機械・精密、オプティクス・フォトニクス、ナノテクノロジー・材料、応用化学・応用物理などの既存の分野だけでなく、融合分野や新興分野における新たな挑戦的研究を歓迎します。

日本の経済発展には地域の活性化が不可欠ですので、キヤノン財団は特に地域の活性化に貢献する研究を重点的に支援したいと思います。地方に位置する大学の研究をある一定枠を設けて支援するとともに、中央に位置する大学の研究で地域の活性化を目指す研究もこの枠内で支援します。

#### 2.2. 申請条件

申請者は国内の大学および大学院(附属機関を含む)、大学共同利用機関、高等専門学校、その他公的研究機関等に勤務する研究者で、当該機関で実質的に研究できる方です。助成申請に際しては、所属機関の上長の承認を受けてください。共同研究者は国内外を問いませんが、申請者は責任をもって、その方の研究の実施および研究費を管理してください。

当財団の助成により得られた研究成果は公表をお願いします。

なお、すでに他の機関から助成を受けている研究は助成の対象になりません。  
また、同一申請者が当財団に複数の申請をすることはできません。

#### 2.3. 助成金額

1件あたり助成期間中の研究費2,000万円以下

採択総額2億円

助成金の支給は2010年4月に開始

助成金は原則所属機関に支払われます。研究期間が2年の場合は2年に分けて支払われます。

#### 2.4. 助成金の使途

助成金の使途は申請された研究に必要な直接経費としてください。助成金をオーバーヘッド(間接経費、一般管理費)に充てることはできません。

#### 2.5. 助成期間

助成決定から1年あるいは2年のいずれかとします。

#### 2.6. 募集期間

2009年5月15日～2009年7月15日

期間内に必着のこと

### 3. 選考方法と採否通知

---

#### 3.1. 選考方法

当財団の選考委員が書類審査による一次選考、および面接による二次選考(12月頃を予定)を行います。2010年3月開催予定の当財団理事会において正式決定されます。

#### 3.2. 選考基準

選考にあたり下記項目が考慮されます。

萌芽性、先駆性:新しい技術を生み出す可能性や研究領域を提案している

独創性:独自の解決方法を提案しており、ブレークスルーが期待される

貢献性:研究成果の学術への高い貢献あるいは産業のイノベーションを起こすことが期待される  
地域の活性化、地域イノベーションに貢献する研究開発課題を重要視します。

計画性:限られた期間と予算の下に目標の達成が可能な実施計画である

#### 3.3. 採否通知

一次選考結果は10月中に通知されます。また、二次選考結果は2010年1月に内示され、最終結果は、正式決定後直ちに助成決定者宛に通知されます。採否の理由についてのご照会には回答いたしかねますのでご了承下さい。

尚、助成決定者一覧は、正式決定後に当財団ホームページ上に掲載されます。

### 4. 個人情報取り扱いについて

---

申請時にご提供いただいた個人情報は、当財団研究助成の業務に必要な範囲内に限定して使用いたします。

#### 申請書、申込書のダウンロード

---

「産業基盤の創生」の申請書、申込書は以下からダウンロードできます。

申請書	<a href="#">産業基盤の創生 研究助成申請書</a>	Word 122KB
申込書	<a href="#">キヤノン財団研究助成申込書</a>	Word 35KB

[応募方法と申請書の書き方](#)

## 理想の追求 募集要項

### 1. 「理想の追求」研究助成の趣旨

キヤノン財団は、人類の英知を深め、人類の持続的な繁栄を目指す総合的な研究プロジェクトに対して助成を行います。ここではFrontier、Welfare、Sustainabilityの視点から当財団が毎年研究課題を提示します。この研究課題に熱意をもって果敢に挑戦し、大きなイノベーションを起こすことが期待される、独創的で先駆的な研究プロジェクトを歓迎します。

### 2. 募集の概要

2009年募集の「理想の追求」研究課題は、人類にとって身近でありながら未知の部分の多い「海洋に関する研究」としました。日本は古くから海産物を食料とし海との係わりが大変深い国です。しかし海洋に関してそれほど知られているわけではなく、現在でも次々に新しいことが発見されるまだまだ未知な領域です。また近年は、海面水位、海水温、海流変化、海洋生物の減少など海に関わる現象と地球規模の気候変動との相関が明らかになり、海洋研究が重要な分野となってきています。

#### 2.1. 2009年募集の研究課題

- (1) 海に暮す生き物の不思議、未知の生態  
これまで知られていない海の生き物の性質、生態を新たな研究手法により解明する
- (2) 地球の歴史、生命の起源に迫る海洋研究  
海底鉱物、海底生物などの研究を元に地球物理、生命に関する諸問題に多分野の研究者が協力して挑む
- (3) 地球規模の気候変動と海の変化  
気候変動に関わる知見を得るための新しい海洋観測や予測モデルの提案と実証
- (4) 海洋環境の観測と回復  
海洋環境の変化の原因解明と回復方法の提案と検証
- (5) 海の恵みがもたらすイノベーション  
海洋エネルギーを利用した自然エネルギー開発や海洋生物、海藻などから見出される新有用物質の探索  
上記に限らず「理想の追求」に相応しく海洋に関するイノベティブな研究があればご応募ください。

#### 2.2. 研究プロジェクトの構成

異分野の研究者が協力して研究課題に取り組むことにより、新たな学術領域を拓くことを期待しています。プロジェクトはこの主旨に鑑み分野を越えた研究者を含む構成としてください。主となる研究テーマは科学技術であることが条件ですが、社会科学的研究を加えるなど多面的に研究することも成果の活用面で重要と考えます。従来概念にとられない新たな発想に基づく研究や研究手法をご応募ください。

#### 2.3. 申請条件

申請はプロジェクトリーダーが行ってください。プロジェクトリーダーの条件は、国内の大学および大学院(付属機関を含む)、大学共同利用機関、高等専門学校、その他公的研究機関等の何れかに勤務している研究者であり、当該機関で実質的に研究できる方です。助成申請に際して、所属機関の上長の承認を受けてください。共同研究者は国内外を問いませんが、プロジェクトリーダーは責任をもって、その方の研究の実施および研究費を管理してください。当財団の助成により得られた研究成果は公表をお願いします。

なお、すでに他の機関から助成を受けている研究は助成対象となりません。また、同一申請者が当財団に複数の申請をすることはできません。

#### 2.4. 助成金額

1件あたり研究期間中の研究費5,000万円以下  
採択総額1億円  
助成金の支給は2010年4月開始。3年に分け毎年所属機関に支払われます。

## 2.5. 助成金の使途

助成金の使途は申請された研究に必要な直接経費としてください。助成金をオーバーヘッド(間接経費、一般管理費)に充てることはできません。

## 2.6. 助成期間

助成決定から原則3年間

## 2.7. 募集期間

2009年5月15日～2009年7月31日  
期間内に必着のこと

## 3. 選考方法と採否通知

---

### 3.1. 選考方法

当財団の選考委員が書類審査による一次選考、および面接による二次選考(12月頃を予定)を行います。2010年3月開催予定の当財団理事会において正式決定されます。

### 3.2. 選考基準

選考にあたり下記項目が考慮されます。

挑戦性: 大きな目標が設定されている

独創性: 独自の解決方法を提案しており、ブレークスルーが期待される

先駆性: すでに実施されているプロジェクトではなく、新規なプロジェクトである

貢献性: 学術あるいは社会に対し研究成果の大きな貢献が期待される

研究体制: 研究目標を達成するため分野を越えて必要な人材を集めたプロジェクトの構成となっている

計画性: 限られた期間と予算の下に目標の達成が可能な実施計画である

### 3.3. 採否通知

一次選考結果は10月中に通知されます。また、二次選考結果は2010年1月に内示され、最終結果は、正式決定後直ちに助成決定者宛に通知されます。採否の理由についてのご照会には回答いたしかねますのでご了承ください。

尚、助成決定者一覧は、正式決定後に当財団ホームページ上に掲載されます。

## 4. 個人情報取り扱いについて

---

申請時にご提供いただいた個人情報は、当財団研究助成の業務に必要な範囲内に限定して使用いたします。

### 申請書、申込書のダウンロード

---

「理想の追求」の申請書、申込書は以下からダウンロードできます。

申請書	<a href="#">理想の追求 研究助成申請書</a>	Word 120KB
申込書	<a href="#">キヤノン財団研究助成申込書</a>	Word 35KB

[応募方法と申請書の書き方](#)

## 応募方法と申請書の書き方

研究助成プログラムの流れは以下のようになっています。

2009年									2010年			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
「産業基盤の創生」			5/15 開始		応募期間		7/15 締切	一次選考		一次選考結果通知		
「理想の追求」			5/15 開始		応募期間		7/31 締切	一次選考		二次選考会		
									(採択内示)			
									正式採択通知			
									贈呈式(予定)			

また、申請手続きの方法と注意事項は以下をご確認ください。

### 1. 応募方法

以下の手順に従って申請してください。

応募書類(紙)の当財団着をもって申請の受理となりますので、締切日に間に合うよう応募書類をお送りください。

Step.1 応募資料をホームページよりダウンロード

Step.2 申込書および申請書の記入

Step.3 応募フォームより申請書を添付して事務局へデータ送信

Step.4 キヤノン財団より受付No.を受信

Step.5 受付No.を書類に記載の上、申込書および申請書コピー(3部)を郵送

Step.6 受付受理完了のメールを受信



[クリックでより詳しく手順をご覧ください](#)

### 2. 申請書の書き方

#### 2.1. 応募書類

申請に必要な書類は以下をそれぞれダウンロードしてお使いください。

[キヤノン財団研究助成申込書](#) (Word 35KB)

[産業基盤の創生 研究助成申請書](#) (Word 122KB)

[理想の追求 研究助成申請書](#) (Word 120KB)

#### 2.2. 応募書類記入上の注意点

- (1) キヤノン財団研究助成申込書(以下申込書)を用い、申請者の勤務する大学・研究機関等の所属機関の「長」(例えば、大学院研究科長、学部長、研究所長など直属の所属長)から、研究助成申請についての承認を得てください。共同研究者についても所属機関の「長」の承認を得た申込書をご提出ください。
- (2) 応募フォームから研究助成申請書(以下申請書)を送付する際にファイル容量が5MBで制限されますので、これに収まるように注意してください。
- (3) 研究内容に関する設問1~4は申請書の1ページ目と2ページ目に収まるように記入してください。
- (4) 主な業績の(1)論文リストには、これまでの研究の中で最も重要と思われる論文5件をご記入ください。また、その下

段に重要である理由を1、2行で記入してください。

(2) 出願特許リストにはこれまでに出版された中から主要な特許10件以内について、特許番号、名称、出願人を記入してください。

- (5) 助成申請額は以下のように記入してください。

助成期間が複数年の場合は年度ごとにご記入ください。

用途は申請された研究に必要な直接経費であることをお願いします。助成金を所属機関のオーバーヘッド(間接経費、一般管理経費)に使用することはできません。

記入する際の費目として以下をお使いください。

設備、備品費: 研究用の装置、付属品など

消耗品費: 材料、器具など

謝金: 研究補助者への謝金。大学院生には下記奨学金を検討ください

旅費: 本研究に関わる国内、海外出張経費

奨学金: 申請研究を担当する大学院生への学資補助

その他: 外部への製作依頼など上記に含まれない経費

- (6) 奨学金の支給について

申請された研究に携わる大学院生に対し、研究助成金から奨学金を支給することができます。他機関からの奨学金を含め、該当する院生が受け取る奨学金総額が年300万円を越えない範囲で、年100万円まで当財団の奨学金を支給することができます。支給期間は助成期間内で、卒業により支給資格はなくなります。支給人数は各テーマ若干名です。

なお、奨学金を支給された大学院生は毎年当財団へ研究報告書をご提出ください。

- (7) 他機関からの研究資金欄には現在受領している、あるいは申請中の科研費や助成金でその受給期間の総額が300万円以上のものを記入してください。
- (8) 研究助成申請書のスペース不足またはページ不足の場合はページを追加しても構いませんが、容量が5MBを越えないようご注意ください。

### 2.3. 応募書類の提出

当財団ホームページの応募フォームから申請後、下記書類を角2(A4サイズ)封筒へ入れてお送りください。FAX、e-mailでの申請は受けつけておりません。

- (1) 申込書 共同研究者がある場合はその方の分も必要です。
- (2) 研究助成申請書 A4サイズで3部お願いします。

< 応募書類送付先 >

〒146-8501 東京都大田区下丸子3-30-2  
一般財団法人キヤノン財団 事務局宛

申請にあたり、当財団ホームページの「[個人情報保護方針](#)」をお読みいただきまよう、お願いします。

提出いただいた応募書類は、返却致しませんので、予めご了承ください。また、不備がある場合、受付できませんので、必ず上記注意点をご確認の上、応募書類を作成してください。

### 2.4. 申請の受付

応募書類到着後、応募の受理を電子メールでご連絡致します。

## 3. 採択決定後の義務について

### 3.1. 採択決定後の提出物

助成対象者には、当財団所定の「助成承諾書」、「実施予算書」を提出いただきます。また、奨学金支給のある場合は「奨学金届け」を提出してください。

### 3.2. 贈呈式への参加

2010年4月に予定しています助成金贈呈式に、原則として助成対象者ご本人の出席をお願いします。

### 3.3. 途中経過および終了後の提出物

- (1) 研究経過報告書(研究期間が複数年の場合は毎年提出)
- (2) 研究完了報告書
- (3) 会計報告書(研究期間が複数年の場合は毎年および終了時に提出)

また、当財団の出版物へのご寄稿や発表会でのプレゼンテーションをお願いすることがあります。

### 3.4. 研究発表

研究成果発表には、当財団から研究助成を受けた旨お書き添えください。英文の場合、例えば、下記のような Acknowledgementをお願いします。

This work was (partially) supported by The Canon Foundation.

なお、当財団研究助成の成果に基づく特許または実用新案などの知的財産権に関し、当財団は権利を主張しません。

## 4. 変更等

---

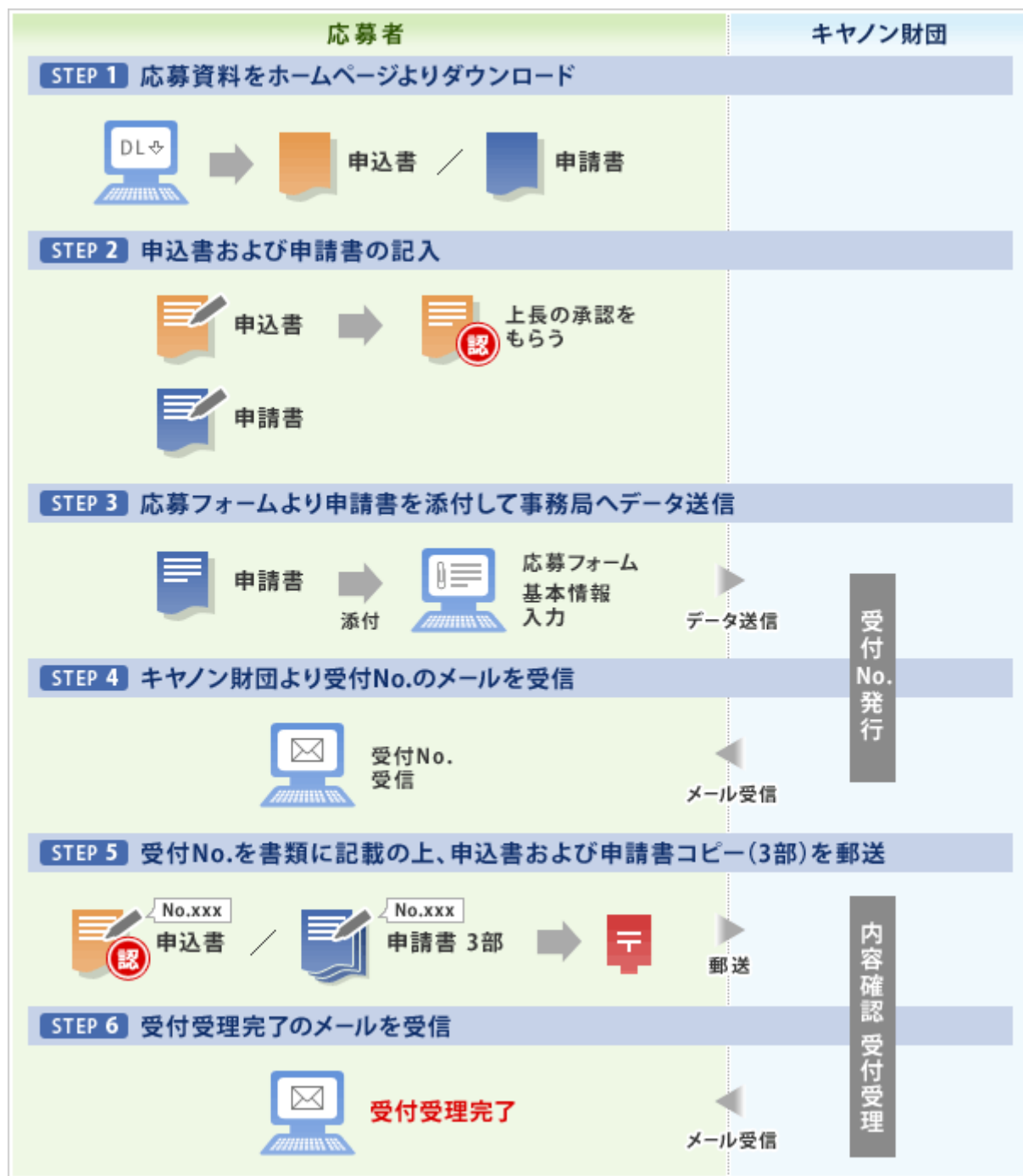
助成期間中に所属機関の異動、当該研究の変更や中止、助成金の使途変更、あるいは他の研究者によって研究を遂行する必要が生じた場合などには、遅滞なく当財団までご連絡ください。

## 5. お問い合わせ

---

研究助成に関する質問は当財団ホームページにある「[お問い合わせ](#)」からお送りください。

申請フロー



[応募方法と申請書の書き方に戻る](#)